

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-163971

(43)Date of publication of application : 18.06.1999

(51)Int.Cl.

H04M 1/00

H04Q 7/38

H04M 1/57

(21)Application number : 09-324965

(71)Applicant : KYOCERA CORP

(22)Date of filing : 26.11.1997

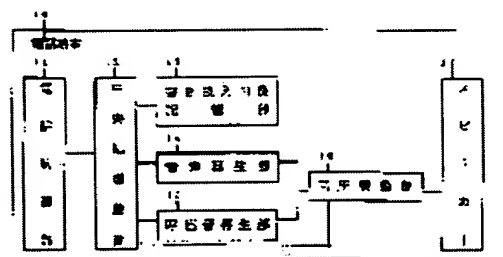
(72)Inventor : TANEMURA TSUGUNORI

(54) SYSTEM FOR REPORTING INCOMING CALL OF RADIO TELEPHONE TERMINAL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To clearly recognize that an incoming call is the one to one's own telephone terminal by outputting a call originator name by means of voice, which is stored in accordance with the number that is previously stored in a radio telephone terminal when an incoming number coincides with the number.

SOLUTION: When incoming call occurs in a telephone control part 11, data such as the number or the name, etc., previously registered in a re-writable storage part 13 is preserved as an ASCII code in a central processor 12. Moreover, it is recognized whether setting is executed so as to reproduce an incoming call sound by voice or not and the call originator name is set to be reproduced. When the call originator name is registered, a sound pressure adjusting part 16 is set, data read out from the re-writable storage part 13 is reproduced by a voice reproducing part 14 and an output is executed from a speaker 17. At the time of no setting, voice is reproduced from a call sound reproducing part 15 as a call sound so as to be outputted from the speaker 17.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

*[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-163971

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月18日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 M 1/00

H 0 4 M 1/00

B

H 0 4 Q 7/38

1/57

H 0 4 M 1/57

H 0 4 B 7/26

1 0 9 L

1 0 9 T

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号

特願平9-324965

(22) 出願日

平成9年(1997)11月26日

(71) 出願人 000006633

京セラ株式会社

京都府京都市伏見区竹田烏羽殿町6番地

(72) 発明者 種村 次記

東京都世田谷区玉川台2丁目14番9号 京

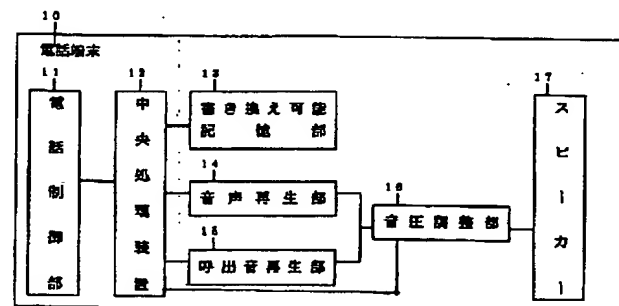
セラ株式会社東京用賀事業所内

(54) 【発明の名称】 無線電話端末の着信通知方式

(57) 【要約】

【課題】 無線電話端末の呼出時に、他人の電話端末に対する着信との混同を防ぐ。

【解決手段】 無線電話端末に着信があったときに可聴音を発生させて着信を通知する無線電話端末の着信通知方式において、着呼した番号が予め無線電話端末に記憶された番号と一致したとき、その番号に対応して記憶されている発信者名を音声出力する音声発生部を具備するようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】無線電話端末に着信があったときに可聴音を発生させて着信を通知する無線電話端末の着信通知方式において、着呼した番号が予め無線電話端末に記憶された番号と一致したとき、その番号に対応して記憶されている発信者名を音声出力する音声再生手段を具備した事の特徴とする無線電話端末の着信通知方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、呼出を受けたときに可聴音で呼出を通知する無線電話端末に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、PHS、携帯電話等の無線電話端末は、着信を受けたときに数種類の着信音もしくはユーザーが設定した着信音を発生したり、電話機本体に内蔵または本体外付けの振動装置により振動で着信を通知するようにしている。

【0003】

【発明の解決しようとする課題】しかしながら、上述した呼出方式の場合、呼出音の種類が少ないことにより、他の端末の呼出音との区別が付けにくく、似たような呼出音がした場合には常に自分あての電話ではないのかと確認する必要があった。また、振動装置による呼出装置の場合はコストの上昇や本体容積の向上を招くという欠点があった。

【0004】本発明の目的は、かかる欠点を解決し着信を確実に通知する手段を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、本発明は、無線電話端末に着信があったときに可聴音を発生させて着信を通知する無線電話端末の着信通知方式において、着呼した番号が予め無線電話端末に記憶された番号と一致したとき、その番号に対応して記憶されている発信者名を音声出力する音声発生部を具備するようにした。

【0006】本発明においては、無線電話端末に予め記憶されている番号に対応する名前を着信時に音声発生部により再生し、これを呼出音とすることにより端末保持者に対し自分の電話機に対する着信であることをより明確に表示する。

【0007】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施形態について図面を用いて説明する。

【0008】図1は、本発明の一実施例を示す無線電話端末の構成を示すブロック図である。図に示す通り、無

線電話端末10は、キーボード、送受信回路等の電話の本体部分を制御する電話制御部11、端末全体の制御を行う中央処理装置12、発信者番号と対応する名前を記憶している書き換え可能記憶部13、記憶部13に記憶されている番号に対応する名前を音声で再生する音声再生部14、着信があったときに記憶部13に番号が記憶されていないとき呼出音を発生する呼出音再生部15、音声再生部14及び呼出音再生部15の音量を調節する音圧調整部16、音声を出力するためのスピーカー17より構成されている。なお、アンテナ、送受信部等は省略している。

【0009】中央処理装置12は、電話制御部11において着信が発生した場合に、書き換え可能記憶部13において予め登録されている番号・名前等のデータをアスキーコードとして保存してあり、また着信音を音声で再生するように設定がなされているかを確認し、発信者名を再生するように設定してありまた発信者名が登録してある場合には、音圧調整部16を設定し書き換え可能記憶部13より読み出したデータを音声再生部14より再生し、スピーカー17から出力する。なお、設定していない場合には、呼出音再生部15より音声を呼出音を再生しスピーカー17にて出力する。

【0010】なお、この時書き換え可能記憶部13に記憶されるデータは、音声再生部14において再生できるように圧縮した圧縮音声データでも良い。また、電話端末によっては、本装置に振動式着信通知装置を接続してもよい。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように、本発明により無線電話端末において着信が発生したときに予め登録された発信者からの着信であった場合は、各発信者毎に固有の名称を再生することにより自分の電話端末に対する着信であることがより明確に分かるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明の無線電話端末の基本的な構成を示すブロック図。

【符号の説明】

- 10 電話端末
- 11 電話制御部
- 12 中央処理装置
- 13 書き換え可能記憶部
- 14 音声再生部
- 15 呼出音再生部
- 16 音圧調整部
- 17 スピーカー

【図1】

